

# Unicage (usp Tukubai) on AWS

～ いますぐユニケージ®開発をはじめよう～

申し込み後  
すぐに利用開始

お支払いは  
使った分だけ

目的にあわせて  
利用環境を選択

ユニケージ開発手法で使用するコマンド「usp Tukubai」がAWS ( Amazon Web Service ) で利用できます。クラウドサービスを利用することによって、ハードウェアの調達やソフトウェアのインストールなどの作業を行う必要はありません。AWSのWebサイト上でのお申し込みだけで、すぐに利用開始。利用料金は、\$ 0.67 ～。いますぐ、ユニケージ開発を始められます。

## Unicage

ユニケージ開発手法は、Linux/UNIXのシェルスクリプトとテキストデータで企業システムを開発する開発手法です。このユニケージ開発手法で、Linux標準のコマンドと組み合わせて使用するUSP社製のコマンドが「Unicage ( usp Tukubai )」です。データ処理において「かゆいところに手が届く」便利なコマンドが多数用意されています。シンプルながら高度にチューニングされたコマンドは、ユニケージ開発手法の作法でを使用することによって、他にはない高速なデータ処理を実現します。

Unicage ( usp Tukubai )は、米国Amazon社が提供するクラウド・インフラストラクチャサービスAmazon Web Services ( AWS ) のコンピュータ処理サービスであるAmazon EC2 ( Amazon Elastic Compute Cloud )上で、すぐに使える状態で提供されます。小規模から大規模・高性能まで、さまざまな環境が揃っています。ご利用の目的に合わせてご選択ください。

→ いますぐ始めるには、裏ページのインストラクションへ

## 料金表

1時間あたりの使用料\*1

EC2 インスタンスタイプ	usp Tukubai	EC2	合計
Standard Micro (t1.micro)	\$0.60/hr	\$0.02/hr	\$0.62/hr
Standard Small (m1.small)	\$0.60/hr	\$0.06/hr	\$0.66/hr
Standard Medium (m1.medium)	\$0.60/hr	\$0.12/hr	\$0.72/hr
Standard Large (m1.large)	\$0.60/hr	\$0.24/hr	\$0.84/hr
Standard XL (m1.xlarge)	\$0.60/hr	\$0.48/hr	\$1.08/hr
High-Memory XL (m2.xlarge)	\$0.60/hr	\$0.41/hr	\$1.01/hr
High-Memory 2XL (m2.2xlarge)	\$0.60/hr	\$0.82/hr	\$1.42/hr
High-Memory 4XL (m2.4xlarge)	\$0.60/hr	\$1.64/hr	\$2.24/hr
High-CPU Medium (c1.medium)	\$1.20/hr	\$0.145/hr	\$1.345/hr
High-CPU XL (c1.xlarge)	\$1.20/hr	\$0.58/hr	\$1.78/hr
High I/O 4XL (hi1.4xlarge)	\$1.20/hr	\$3.10/hr	\$4.30/hr
M3 Extra Large (m3.xlarge)	\$0.60/hr	\$0.50/hr	\$1.10/hr
M3 Double Extra Large (m3.2xlarge)	\$0.60/hr	\$1.00/hr	\$1.60/hr

その他のAWS サービス使用料\*2

- EBS Elastic Block Store  
(Amazon EC2用ストレージサービス)  
Amazon EBS Standard volumes  
\$0.10 1ヶ月にプロビジョニングされたストレージ 1GBあたり  
\$0.10 100万I/Oリクエストあたり  
Amazon EBS Provisioned IOPS volumes  
※大量のI/Oが発生する処理を行う場合はこちらをご選択ください  
\$0.125 1ヶ月にプロビジョニングされたストレージ 1GBあたり  
\$0.10 1ヶ月にプロビジョニングされたIOPSあたり  
Amazon EBS Snapshots to Amazon S3  
\$0.095 1ヶ月に格納されたデータ1GBあたり
- データ転送  
Amazon EC2に、受信(in) / 送信(out)されるデータ転送量とデータの受信元 / 送信先の場所によって料金が異なります。

\*1 最小単位は1時間です。数分間使用した場合も1時間の利用料金がかかります。

\*2 AWSが提供するサービスの内容・料金は、利用する地域などによっても異なります。  
また、必要に応じてさまざまなサービスを追加できます。詳しくはAWSの料金表でご確認ください。  
日本語 (<http://aws.amazon.com/jp/pricing/>)  
英語 (<http://aws.amazon.com/pricing/>)

## usp Tukubai AMI 動作環境

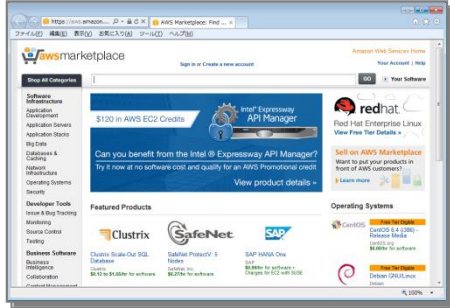
- OS: CentOS 6.3



# AWS で Unicage ( usp Tukubai ) を使うには

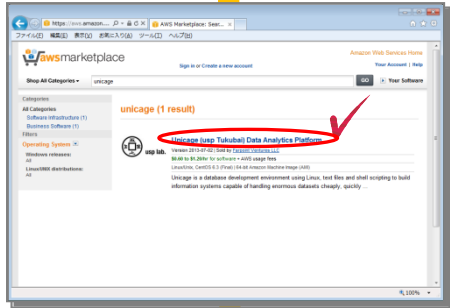
## ① AWS Marketplaceのページを開く

<https://aws.amazon.com/marketplace>

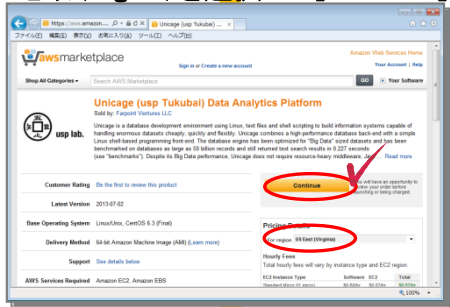


## ② Unicage で検索

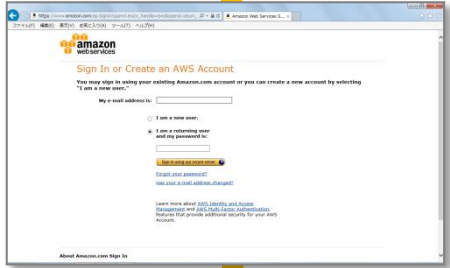
Unicage(usp Tukubai)Data Analytics Platform を開く



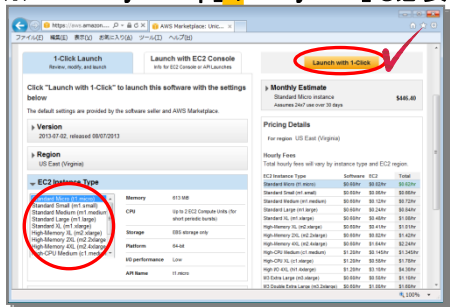
## ③ サービス内容を確認し、地域 (region) を選択して [Continue] を押す



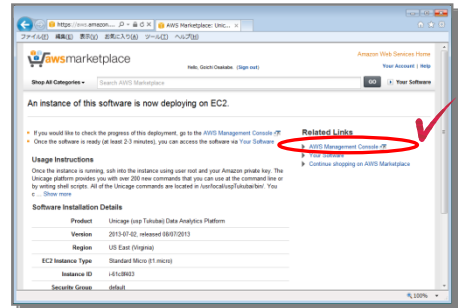
## ④ AWSにログイン (※アカウントがない場合は作成)



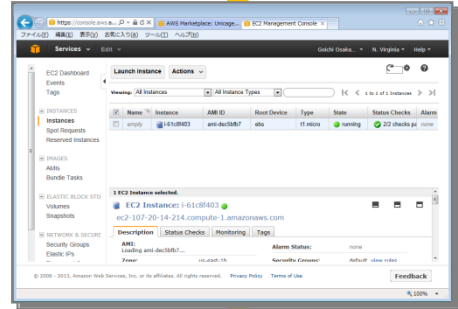
## ⑤ サーバのスペックを選択し [Launch with 1-Click] をクリック ※「Security Group」や「Key Pair」も必要に応じて選択



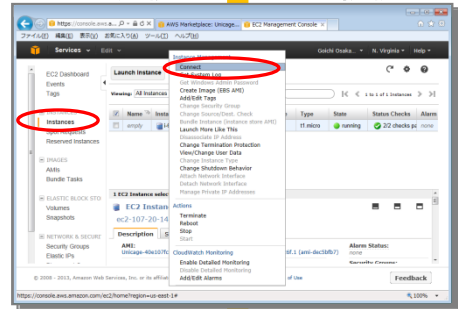
## ⑥ AWS Management Consoleを開いてサーバを構築



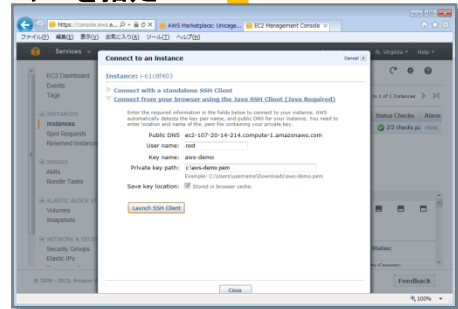
## ⑦ usp Tukubaiがすぐに使える状態でサーバが起動



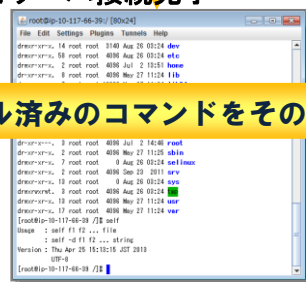
## ⑧ インスタンスを選択し、Instance Managementから Connectを選択してサーバに接続



## ⑨ Private key path にインスタンス作成時に設定したキーを指定



## ⑩ SSHでサーバ接続完了



インストール済みのコマンドをそのまま利用開始!

サーバ  
終了時

Terminate : サーバを消去(データも消える)

Stop : サーバを停止(再度起動できるため、データは保持)